

様式第二十一（第13条関係）

認定事業再編計画の内容の公表

1. 認定をした年月日
令和6年12月17日
2. 認定事業者名
株式会社レゾナック・ホールディングス

3. 事業再編の目標
(1) 事業再編に係る事業の目標
(価値観)

株式会社レゾナック・ホールディングス(以下「当社」)は、「化学の力で社会を変える」をパーパスとして掲げ、世界トップクラスの機能性化学メーカーとして、社内あるいは化学産業に閉じた個社の事業活動に留まらず、志を共にするステークホルダーとより良い社会を共創していく共創型化学会社の実現を通じて、持続可能なグローバル社会の発展に貢献することを目指している。本目標の達成に向けて、継続的な事業ポートフォリオの見直しを進めるとともに、今後成長が見込まれる半導体・電子材料事業に経営資源を集中し、成長を促進していく方針である。

一方、当社グループにおける石油化学事業は、当社連結売上高の約25%を占める主要事業の一つであり、「安定収益事業」と位置付ける。同事業は日本の社会インフラとしての役割を果たす公共的側面があり、持続的・安定的な事業運営が求められる。2024年8月1日に分割準備会社として、当社子会社の株式会社レゾナック100%出資の子会社(当社孫会社)クラサスケミカル株式会社(以下「クラサス」)を設立。2024年10月22日に当社及び株式会社レゾナックを分割会社とし、クラサスを承継会社とする吸収分割(以下「本吸収分割」)を2025年1月1日付けで実施することを公表した。クラサスの社名由来は、「Cras(明日/ラテン語)」と「Sustainable(持続可能な)」、さらに「暮らし」と「Sustain(支える)」を組み合わせた造語であり、人々の暮らしに欠かすことのできない石油化学産業で、カーボンニュートラルと循環型社会の構築をリードし、サステナブルな社会の実現に貢献するという想いを込めている。

各国で投資競争が加速する半導体・電子材料事業と、国内市場が飽和する中でカーボンニュートラル実現に対する社会的要請も強まっている石油化学事業とでは、ビジネスの戦略、課題が異なる。競争環境が異なる事業を同じ「モノサシ」で経営するよりも、石油化学事業の独立性を高め、柔軟かつ迅速な意思決定が可能な経営組織に移行することで、石油化学事業及び当社グループ双方の成長に繋げることを選択した。

(ビジネスモデル)

当社グループは半導体・電子材料事業等のコア成長事業への積極的な投資を続けるとともに、さらなる競争力強化のために、ポートフォリオ経営の高度化を推進し、企業価値の最大化を目指していく。この当社グループのビジネスモデル自体が本件事業再編に伴い直接的に転換することはない。

一方、石油化学事業は日本の社会インフラとしての役割を果たす公共的側面があり、経済安全保障上の使命を担っているため、持続的・安定的な運営が必要となるビジネスである。当社グループにおける石油化学事業は安定収益事業と位置付けていたが、事業再編によって独立した石油化学専業会社とすることで、リーンな組織運営、意思決定の迅速化、ビジネスモデルを多様化する新たな取り組みが可能となり、安定的な利益のさらなる維持拡大を目指す。また、CO₂多排出型産業とされる石油化学事業において、カーボンニュートラル推進が業界全体の課題である中、独立企業体とすることで機敏でオープンな動きが可能となり、近隣企業や国・地方自治体との連携を加速できる。

(戦略)

石油化学事業は分社化後も、既に確立している日本国内の顧客基盤を武器に、基幹設備であるエチレンプラント及びその誘導品の競争力を強化し、安定的な利益とキャッシュフローの創出を図る。製造拠点である大分コンビナートの競争力の源泉は、設備信頼性に優れたエチレンプラントの安定稼働、高いマーケットシェアを有する誘導品事業、優位なロケーションとインフラ等にある。これらの強みを最大限に活かし、本邦トップクラスのオペレーショナルエクセレンスを追求することにより、主要市場である国内の競争優位性をさらに強化する。

(持続可能性・成長性)

石油化学事業は分社化後も、今後の国内需要の見通しや海外勢との競争激化に鑑み、事業規模の積極的な拡大は志向せず、上述の戦略の遂行により事業環境が悪化している局面でも持続的かつ安定的に利益を確保していくことを目指す。事業競争力の強化に加えて、カーボンニュートラルへの取り組みを推進することで事業の持続可能性を担保していく。さらに、高付加価値製品の国内外への拡販や技術ライセンスなど新たなビジネスモデルの確立により、漸進的な利益成長が可能と考えている。

(ガバナンス)

上記に掲げた事業再編計画の実施に当たり、執行部門と監督部門の責任と権限を明確に分離し、事業再編計画の進捗状況を適時適切にモニタリングできる体制の構築に努める。具体的には、月次での取締役会における予実報告や関連当事者等との取引のモニタリング及び複数監査役による監査役協議会の運営等、分社化後、独立企業体として求められるガバナンス体制を具備し、これらの構築を通じて経営の透明性や業務執行に対する監督を強化することにより、本計画を監督する適切なガバナンス体制構築を計画している。

(2) 生産性及び財務内容の健全性の向上を示す数値目標

事業再編計画の対象となる事業の生産性の向上としては、2027年12月期は2023年12月期に比べて、修正ROICを3.9%向上させることを目標とする。財務内容の健全性の向上としては、2027年12月期において当社の有利子負債はキャッシュフローの2.6倍、経常収支比率は119.4%となることを目標とする。

4. 認定事業再編計画に係る事業再編の内容

(1) 事業再編に係る事業の内容

① 計画の対象となる事業

石油化学事業

〈選定理由〉

国内石油化学産業は、2050年のカーボンニュートラル実現に向けて、製造プロセスの合理化、バイオマス原燃料への転換、ケミカルリサイクルの進展等のサステナブルな事業モデルへの転換や技術創出が求められる。加えて、中国・韓国を中心とした東アジアにおける石油化学プラントの大規模新增設に伴う石油化学製品の輸出減少リスク、エネルギー価格上昇に伴うコストアップ、国内人口減少を背景とした中間財・川下製品の需要減少等へ対応することが必要となる。

このような事業環境が大きく変化する中においても、石油化学事業が公共性・経済安全保障の観点から我が国に不可欠な産業であるとの当社認識のもと、石油化学事業を持続的・安定的に運営すること、並びに高い事業競争力を維持し成長させる必要がある。

本吸収分割により、石油化学事業が独立企業体として、自ら稼ぐ経営資源を最大限活用することで、石油化学のグリーン・トランスフォーメーション実現のための取り組みを加速し、さらなる利益の成長と競争力の強化を目指す。

② 実施する事業の構造と分野又は方式の変更の内容

当社グループの石油化学事業を本吸収分割の方式によりクラサスに承継し、独立した石油化学専門会社とすることで、柔軟かつ迅速な意思決定が可能な経営組織に移行する。また、新たな製造方法によるポリプロピレンの新規高付加価値グレード製品の開発・販売や、クラサスの技術の他社へ供与するライセンスビジネスといった新しい取り組みも推進する。

なお、当該事業再編計画による生産性向上は当該事業分野における市場構造に照らしても持続的なものと見込まれる。また、当該事業分野は過剰供給構造にはなく、さらに一般消費者及び関連事業者の利益を不当に害するおそれがあるものではない。

(事業の構造の変更)

・石油化学事業の吸収分割

〈分割会社〉

名称：株式会社レゾナック・ホールディングス

住所：東京都港区東新橋一丁目9番1号

代表者の氏名：代表取締役社長 高橋 秀仁

資本金：182,146,130,384円(2024年11月末時点)

〈承継会社〉

名称：クラサスケミカル株式会社

住所：大分県大分市大字中ノ洲2番地

代表者の氏名：代表取締役社長 福田 浩嗣

分割前の資本金：1円

分割後の資本金：110,000,000円

発行する株式を引き受ける者：株式会社レゾナック・ホールディングス

分割予定日：2025年1月1日

・石油化学事業の吸収分割

〈分割会社〉

名称：株式会社レゾナック

住所：東京都港区東新橋一丁目9番1号

代表者の氏名：代表取締役社長 高橋 秀仁

資本金：15,554,363,445円(2024年11月末時点)

〈承継会社〉

名称：クラサスケミカル株式会社
住所：大分県大分市大字中ノ洲2番地
代表者の氏名：代表取締役社長 福田 浩嗣
分割前の資本金：1円
分割後の資本金：110,000,000円
発行する株式を引き受ける者：株式会社レゾナック
分割予定日：2025年1月1日

(事業の分野又は方式の変更)

さらなる事業成長に向け、高機能・高付加価値の誘導品の販売拡大を推進し、収益性向上を図る。ポリプロピレン事業のサンアロマー株式会社では、新たな製造方法によるポリプロピレンの新規高付加価値グレード製品の開発、販売に注力する。

また、新たな収益源創出のため、クラサス独自の化学品製造技術を他社へ供与するライセンスビジネスを推進し、海外の新規プラント建設の機会を捉えて、新規案件の成約獲得を企図する。

2027年度には上記新製品等の売上高比率をクラサスグループ全社売上高の1.0%以上とすることを目標とする。

(2) 事業再編を行う場所の住所

東京都港区東新橋一丁目9番1号
株式会社レゾナック・ホールディングス

東京都港区東新橋一丁目9番1号
株式会社レゾナック

大分県大分市大字中ノ洲2番地
クラサスケミカル株式会社

(3) 関係事業者・外国関係法人に関する事項

株式会社レゾナック

当社が株式会社レゾナックの発行済株式のすべてを保有する為、関係事業者に該当する。

クラサスケミカル株式会社

当社100%出資の株式会社レゾナックが、クラサスの発行済株式のすべてを保有する為、関係事業者に該当する。

サンアロマー株式会社

当社100%出資の株式会社レゾナックが、サンアロマー株式会社の発行済株式の65%を保有する為、関係事業者に該当する

(4) 事業再編を実施するための措置の内容

別表1の通り

5. 事業再編の実施時期

開始時期：2025年1月

終了時期：2027年12月

6. 事業再編に伴う労務に関する事項

(1) 事業再編の開始時期の従業員数(2025年1月時点)

株式会社レゾナック・ホールディングスの石油化学事業の従業者：51名

株式会社レゾナックの石油化学事業：828名
クラサスケミカル株式会社：0名

(2) 事業再編の終了時期の従業員数(2027年12月末時点)

株式会社レゾナック・ホールディングスの石油化学事業の従業者：0名
株式会社レゾナックの石油化学事業：0名
クラサスケミカル株式会社：879名

(3) 新規に採用される従業員数

株式会社レゾナック・ホールディングスの石油化学事業の従業者：0名
株式会社レゾナックの石油化学事業：0名
クラサスケミカル株式会社：53名

(4) 事業再編に伴い出向または解雇される従業員数

出向予定人員数 879名

株式会社レゾナック・ホールディングス：0名

株式会社レゾナック：879名

クラサスケミカル株式会社：0名

転籍予定人員数

株式会社レゾナック・ホールディングス：0名

株式会社レゾナック：0名

クラサスケミカル株式会社：0名

解雇予定人員数

株式会社レゾナック・ホールディングスの石油化学事業：0名

株式会社レゾナックの石油化学事業：0名

クラサスケミカル株式会社：0名

7. その他

該当なし

別表 1

事業再編の措置の内容

措置事項	実施する措置の内容及びその実施する時期	期待する支援措置
<p>法第 2 条第17項第 1 号の要件</p>		
<p>ロ 会社の分割</p>	<p>① 分割会社 名称：株式会社レゾナック・ホールディングス 住所：東京都港区東新橋一丁目9番1号 代表者の氏名：代表取締役社長 高橋 秀仁 資本金：182, 146, 130, 384円(2024年11月末時点)</p> <p>② 承継会社 名称：クラサケミカル株式会社 住所：大分県大分市大字中ノ洲2番地 代表者の氏名：代表取締役社長 福田 浩嗣 分割前の資本金：1円 分割後の資本金：110, 000, 000円</p> <p>③ 発行する株式を引き受ける者：株式会社レゾナック・ホールディングス(分割会社)</p> <p>④ 分割予定日：2025年1月1日</p> <hr/> <p>① 分割会社 名称：株式会社レゾナック 住所：東京都港区東新橋一丁目9番1号 代表者の氏名：代表取締役社長 高橋 秀仁 資本金：15, 554, 363, 445円(2024年11月末時点)</p> <p>② 承継会社 名称：クラサケミカル株式会社 住所：大分県大分市大字中ノ洲2番地 代表者の氏名：代表取締役社長 福田 浩嗣 分割前の資本金：1円 分割後の資本金：110, 000, 000円</p> <p>③ 発行する株式を引き受ける者：株式会社レゾナック(分割会社)</p> <p>④ 分割予定日：2025年1月1日</p>	<p>租税特別措置法第80条第1項第3号(認定事業再編計画等に基づき行う登記の税率の軽減)</p> <p>租税特別措置法第80条第1項第6号(会社分割に伴う不動産の所有権の移転登記等の税率の軽減)</p>
<p>法第 2 条第17項第 2 号の要件</p>		
<p>イ 新商品の開発及び生産又は新たな役務の開発及び提供による生産若しくは販売に係る商品の構成又は提供に係る役務の構成の変化</p>	<p>さらなる事業成長に向け、高機能・高付加価値の誘導品の販売拡大を推進し、収益性向上を図る。ポリプロピレン事業のサンアロマー株式会社では、新たな製造方法によるポリプロピレンの新規高付加価値グレード製品の開発、販売に注力する。</p> <p>また、新たな収益源創出のため、当社の石油化学事業独自の化学品製造技術を他社へ供与するライセンスビジネスを推進し、海外の新規プラント建設の機会を捉えて、新規案件の成約獲得を企図する。</p>	

		2027年度には上記新製品等の売上高比率をクラスグループ全社売上高の1.0%以上とすることを目標とする。	
--	--	--	--